

東邦戦向けビデオ分析

光星ナイン 宿舎でミーティング



東邦戦を前に、ナインとミーティングする仲井監督(右)＝10日午前、大阪府吹田市

全国高校野球選手権第一(庫)を破り2回戦進出を3日の初戦で、市尼崎(兵)決めた八戸学院光星ナイン

ン。熱戦から一夜明けた10日は休養日とし、大阪府吹田市の宿舎で次戦の東邦(愛知)との戦いに向けたミーティングを行った。

報道陣には冒頭のみ公開。仲井監督は「(東邦

主戦の)藤嶋は1年生の野に、2時間ほど試合の時から主戦として投げてきているが、ここにきて調子はいまひとつで球速はさほど出ていない」と分析。一方で「ここぞという場面での投球はうまく、漠然と来た球を打つだけでは勝負にならない。打つコース、球種を徹底しよう」と指示した。ナインは8日の東邦(北陸(福井)戦で先発した左腕・松山の登板も視

定。 (本田海輝)

光星 甲子園だより

戸田 将史 投手(3年)



ベンチ入り選手唯一の貴重な左腕。初戦は登板機会がなく、出場選手の道具の片付けや声出しなどサポート役に徹した。

スライダーに自信

明るいな柄で、チームの人気者だ。初戦を振り返って「最後の夏に、あのマウンドで自分も投げたいと燃えた」。スライダーのキレには絶対の自信を持っており「投げる機会があれば、テンポよく打たせて取り、攻撃につなげる投球をしたい」と意気込んでいる。(東京都・志村四中出身、169センチ、68キロ、左投げ左打ち)